

事業所自己評価シート

職員による自己評価

A 環境面

基準の倍の面積を有しているため、スペース的には問題ないが、手すりが設置されているものの、傾斜のきつい階段が課題となっています。構造上の理由から改修は難しいため昇降時には、常に見守が必要です。

B 児童への支援内容

個々の特性に合わせてきめ細やかな支援を行っていますが、アセスメントツールを使用していないため、今後検討する必要があります。

C 関係機関との連携

各種支援機関・学校との連携は、一部で実施しているが、十分ではありません。

D 保護者への説明責任・信頼関係

送迎時などの機会を利用して丁寧な説明を心がけている。

E 非常対応

定期的な防災訓練で職員の役割分担・動きを確認しています。

保護者による評価

A 環境面

- ・手すりは、あるが階段が心配です。
- ・職員配置については不明です。

B 児童への支援内容

- ・1階の学童クラブとの交流についてよくの話をくれます。
- ・交流は必要ないと考えています。
- ・毎回の学習サポート内容を詳しく書いてくれているのでとても助かっている。

C 事業所からの情報発信

- ・みどり通信いつも楽しみにしている。

D 非常対応

- ・他事業所のように1週間を通した避難訓練をした方が良いと思います。

E 満足度

- ・年齢の違う児童等との関りを楽しみにしています。
- ・柔軟な対応、電話での相談感謝しています。

事業所内での分析

【共通点】

規定面積の倍の面積を有していることで、スペース面では、良好な状況です。しかし、階段については勾配がきついため移動時の配慮が必要です。

【相違点】

避難訓練は、定期的に地震、火災、水害などを想定し行い、利用児童全員が体験できるようにしています。また児童の誘導や職員の動きを確認しています。さらに、震災体験者の話を聞くことで、危機意識を高める取り組みも行っています。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・広い面積を有し、部屋が分かれているため特性に応じた活動です。
- ・階下で同一法人の運営する学童保育と交流活動（イベント）を行っており、避難訓練も一緒にいき相互連携しています。

事業所の改善点

- ・急こう配な階段を使用せざるを得ず、建物の構造上改善できないため、常に安全確認が必要です。
- ・保護者とのコミュニケーションとサポートについては、定期的な面談やオンラインを通じて保護者のニーズに合わせたサポートが必要です。

事業所の改善への取り組み

- ・保護者とのコミュニケーションと強化し、定期的な面談や保護者会などを行い保護者の意見や要望を積極的に取り入れていきます。
- ・緊急時の対応の強化し、避難訓練や緊急時対応計画について、保護者への周知を強化し、理解と協力を得られるようにつとめます。また、緊急時の伝達方法迅速確実にできるようにしていきます。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・保護者のアンケートや職員による自己点検を通して改めて客観性をもって見直しすることができることは意義は大きいと感じています。
- ・今回明らかになった改善点に取り組むことで、事業所をよりよくし、利用児童や保護者にとって最適な環境できるように努めてまいります。

事業所名 六ツ川みどりアフタースクールⅡ

担当者 杉山 久美